

## 熱中症予防のために、こまめに水分補給!

「熱中症」とは高温多湿の環境において、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温を調節する機能がうまく働かなくなり、体の中に熱がこもってしまった状態のことをいいます。屋外だけでなく室内でも発症します。

エアコンや扇風機などを使って温度調整を行い、のどが渇いていなくても、こまめな水分補給をこころがけましょう。

今回は、大量に汗をかいた時に役立つ、手づくりの経口補水液の作り方を紹介します。

### 材料

- 水…500ml
- 砂糖…20g
- 塩…1.5g
- レモン果汁…25ml

### 作り方

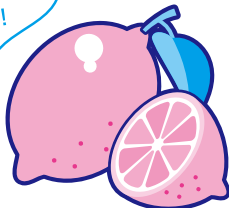
① 材料をすべて混ぜ合わせ、砂糖と塩が溶けたらできあがり。

※冷蔵庫に入れて、2日以内に飲んでください。

※手づくりの経口補水液は、濃度が必ずしも正確にならないため、十分な量の電解質補給ができない可能性があります。あくまでも、市販の経口補水液がすぐに手に入らない場合の緊急措置用として用いてください。熱中症や下痢・おう吐による脱水のときには、市販の経口補水液を利用してください。

原稿提供 / 酒田市健康福祉部健康課

これからの夏に向けて  
作ってみてね!



## 公道漏水の情報提供にご協力を



道路上や道路から敷地内のメーターまでの配管上で、「いつも地面が濡れている」といった場合は、漏水の可能性があります。

水道メーターより道路側の漏水は、上下水道部が調査しますので、上下水道部工務課管路係 ☎22-1813へ連絡してください。

上下水道料金のお支払い、水道の使用開始・中止、名義変更、受益者負担金、合併処理浄化槽分担金、その他上下水道に関するお問い合わせは…

## 酒田市上下水道お客さまセンター

TEL.0234-22-1811 FAX.0234-22-3160

お支払い等の  
窓口営業時間  
《平日》  
8:30~18:00

酒田市上下水道広報

# みんなの水さかた

2019年夏  
第25号

【編集・発行】酒田市上下水道部

酒田市末広町14-14 ☎0234-22-1812



### ●主な内容

## 水道事業の 広域化について

### 酒田まつり「ふるまい水」

上下水道部では、酒田の美味しい水をPRするため、毎年、山車行列参加者や見物客の皆様に、水やお茶などをふるまっています。

## 打ち水で暑い夏を快適に!

打ち水は、水が蒸発するときに地面の熱を奪うことで、まわりの温度を下げ、涼しさを招く効果があります。

気温の高い時間よりも、朝方や夕方に行うのがおすすめです。

みなさんも、水を使った自然の涼しさを感じてみませんか?

もちろん、水分補給で体内からの暑さ対策も忘れずに!



裏面では、水道水で作る  
経口補水液のレシピをご紹介します♪





# 検証!! 水道事業の広域化の効果は?

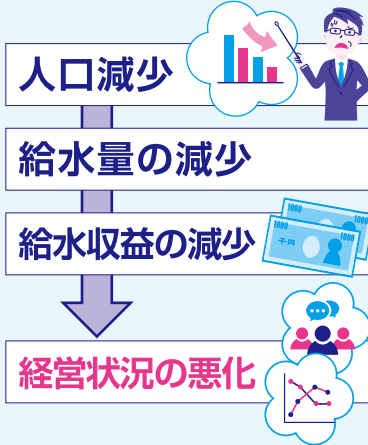
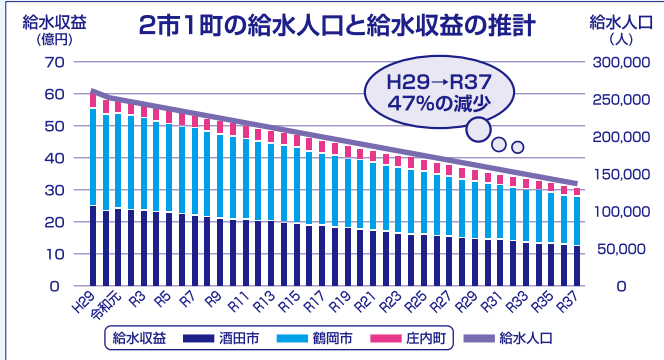
～経営シミュレーションから見えてくる広域化の有効性～



## 現状と課題

### ■ 給水人口の減少

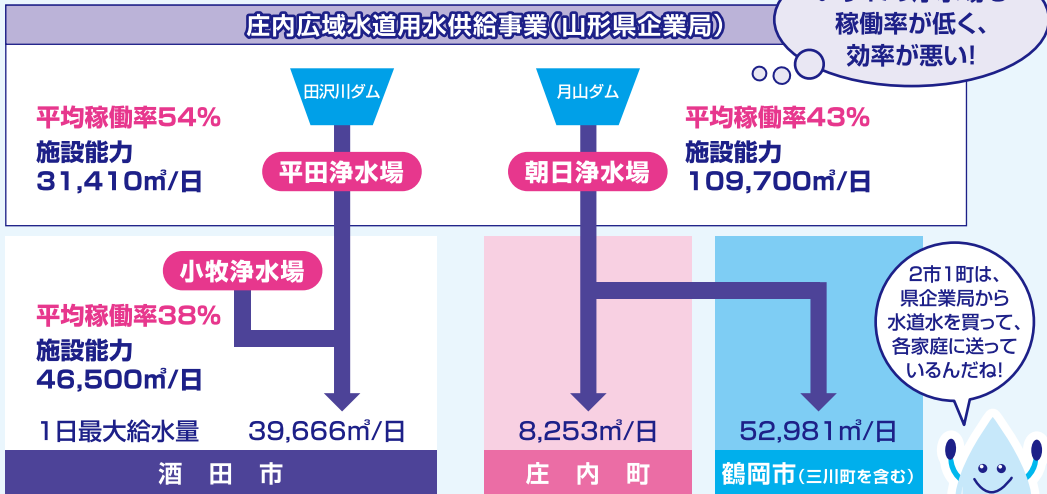
酒田市、鶴岡市、庄内町の給水人口は、人口減少の影響から、令和37年度には平成29年度と比較して、半減する(257,665人⇒137,357人)と見込まれています。今後の給水収益減少への対策が必要となっています。



### ■ 施設稼働率の低下

庄内地域においては、給水量の減少に伴う、水道施設の稼働状況の低下が大きな課題となっています。今後、さらに人口減少による低下が予想され、効率的な運用への見直しが急務となっています。

※県は各市町に水道水を供給し、市町は各家庭に水道水を配る役割を担っています。

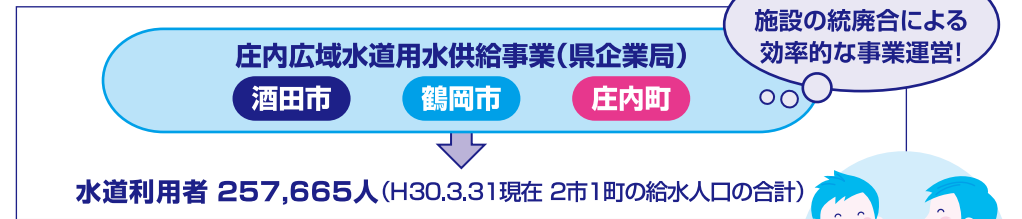


地域全体で施設のスリム化・経営の効率化が必要

## 広域化による経営シミュレーション

広域化による効果について、先進事例やコンサルタントの専門的な知見により経営シミュレーションを行い、その有効性を検証しました。その結果、県企業局の用水供給事業と、2市1町の水道事業が事業統合した場合に、最も大きな効果を生み出すことがわかりました。

### 広域化による事業統合のイメージ



## 広域化による効果

### ■ 財政面での効果

- 稼働率の低下が顕著な、浄水場等の統廃合による施設コストの削減
- 事業規模の拡大による経営基盤の強化や、重複業務の統合による運営コストの削減
- 水源から蛇口まで、一体的な管理体制の構築による効率的な運用

年間4.4億円の削減効果

### 「水道料金の見直し時期の延伸と抑制」の効果

### ■ 施設整備の効果

- 広域化による交付金(国)を活用した水道管の更新・耐震化を推進

169億円(16.9億円×10年間)の財政措置



令和37年度までに水道管の耐震化率 11.2%→55.7%に (2市1町平均値)

アップ!

次世代の負担を軽減!

なお、酒田市では、広域化の検討は行っていますが、民間企業に運営権を委ねる、「コンセッション方式」の導入は想定しておりません。市民生活に不可欠な水道事業の持続と、お客さま負担の圧縮に向けて、広域化による事業統合の早期実現を目指します。